

◆ 平成30年度 活動報告シート ◆

団体名：NPO 法人 荒川の自然を守る会

21A-20

代表者：代表理事 菅間宏子

URL :

1. 活動が必要とされた状況

将来世代の財産である荒川流域の自然環境の激変をまず流域の市民・教員に知ってもらう必要があった。そのため日頃からご協力を頂いている研究者や調査専門家の講演をお願いした。また行政や県内の自然保護団体にも後援を頂きチラシ配布に協力を頂いた。当会の地元密着の活動を知ってもらううえで良い計画であった。（山田先生講演）

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

2018年2月企画案作成

2018年4月14日 助成金目録授与式 チラシ配布

2018年4月26日 東京大学根本先生研究室で打ち合わせ

2018年6月 正規のチラシ作成と配布

2018年6月 講演と当日資料作成依頼 文化会館との打ち合わせ 先生方現地視察会

2018年8月25日（土）「日本らしい自然の再生～荒川流域から考える」フォーラム開催
上尾市文化センター小ホール収容人数 166人

主催者あいさつ 木ノ内勝平

来賓あいさつ 荒川上流河川事務所 荒木副所長 上尾環境経済猿田部長

基調講演 みんなの力で取り戻そう、日本らしい自然

元東京農業大学教授 東京大学特任研究員 根本正之

講演2 荒川の自然～その特性と自然再生の取り組み～

（公財）埼玉県生態系保護協会 熊谷雄介

講演3 宝来堤防の調査から見た荒川の自然

京都造形芸術大学講師 齋藤広道

埼玉県絶滅危惧動物種調査団団員 昆虫部門 佐藤祐治

講演4 改修された荒川堤防に在来種を呼び戻すためにすべきこと

東京農業大学 准教授 山田晋

総括報告 荒川の自然は将来世代の財産

荒川の自然を守る会 代表理事 菅間宏子



3. 活動の成果

当日参加約130人、幅広い年代・他県からも参加いただけた。チラシ資料の評判もよかった。荒川上流河川事務所のあいさつを頂けた。上尾市教委により市内の先生方にもチラシ配布ができた。講師の先生方から「今後日本らしい（会場風景）自然再生の会議を立ち上げたい。その1歩になった。」という評価を頂いた。

4. 今後に残された課題

荒川流域の自然再生を幅広い人たちにさらに呼び掛けていきたい。そのための組織を立ち上げたい。

